



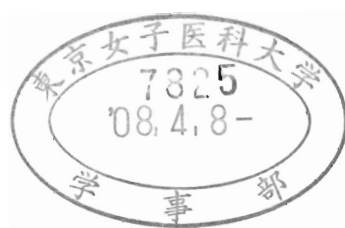
テュートリアル課題 浪人中に太ったT君

著者名	東京女子医科大学
雑誌名	テュートリアル課題
巻	2008
号	B3
発行年	2008-04-08
URL	http://hdl.handle.net/10470/29135

2008年度 Block 3

課題 No. 3

「浪人中に太ったT君」



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください

佐倉 宏 (第三内科学)

課題シート

2008-B3-3

シート1

浪人中に太ったT君

T君は19歳の大学1年生。高校まではスポーツをしていましたが、1年間の浪人中は家にいることが多く、体重が7kg増えてしまいました。4月の健康診断で身長170cm、体重91kg、朝食2時間後の血糖値163mg/dl、尿糖(±)でした。精密検査を受けるように言われましたが、自覚症状が何もないため受けませんでした。

課題シート

2008-B3-3

シート2

浪人中に太ったT君

夏休みに入って暑くてのどの渇きも強かったため、毎日清涼飲料水を約3L飲んでいました。1週間前から夜に何回もトイレに行くようになりました。今朝なかなか起きてこないで家人が様子を見に行ったら、揺り動かしても応答が乏しく様子がおかしいので、救急車で病院に搬送しました。

課題シート

2008-B3-3

シート3

浪人中に太ったT君

救急外来での検査の結果、生理食塩水およびインスリンの点滴が開始されました。翌朝には意識は正常に戻り、食事摂れるようになりました。入院3日目の夕食前に冷汗、手のふるえが生じ、再び意識が低下しました。

課題シート

2008-B3-3

シート4

浪人中に太ったT君

ブドウ糖の静脈注射を行ったところ、すぐに意識は回復しました。1週間後、インスリンは必要がなくなり、退院することになりました。

担当医：「入院で血糖値はずいぶん良くなりました。でも、将来のことを考えると、生活習慣の改善と定期的な通院が必要です。」

T君：「生活習慣の改善はどんなことをするのですか？ずっと続けなければならないのですか？自信がないなあ。」